

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成24年4月)

～現状判断は2ヶ月連続で50を上回る水準に～

- 景気ウォッチャー調査・4月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が3ヶ月連続の上昇、先行き判断も2ヶ月ぶりの上昇となった。
- 現状判断は2ヶ月連続で横ばいを示す50を上回ったが、エコカー減税・補助金による自動車販売の好調が続いているほか、前年が東日本大震災の影響で大きく落ち込んだことで、売上や販売量の前年比が大きく改善したことなどが要因に挙げられる。ただし、これは前年に落ち込んだ反動によるものであり、必ずしも現状の良さを示したものではないとみられる。
- 一方、先行きについては、オリンピックに伴う家電などの需要増を期待する声が出始めている一方、原油相場の上昇による悪影響を心配する声が続く。その多くは、諸物価の値上がりによる消費マインドの低下や、仕入コストの上昇に伴う収益の悪化を懸念する声となっている。
- なお、今夏の関西は大幅な電力不足に陥るとされているが、それを意識した声は多く聞かれるものの、まだ影響の度合いを測りかねているという印象が強い。現時点では、計画停電に踏み切る事態までは織り込まれていないとみられる。

◎電力不足に関するコメント(先行き、家計・企業取引関連)

家計関連	良	スーパー(経理担当)	・ゴールデンウィークは海外旅行に行く客が増えるなど、消費自体は堅調である。猛暑による電力需給への影響は気がかりであるが、夏商戦には前年よりも期待できる。
	変わらない	一般小売店[花](経営者)	・電力問題などの今後の見通しが立たない状況で、どのような影響が出るかも分からないため、景気回復は望めない。
		百貨店(企画担当)	・前年のゴールデンウィークは東日本大震災の影響で遠出する人が少なく、百貨店での買物客が増えたが、今年は旅行者が増える見込みで売上も厳しくなる。また、6月以降、電力会社からの節電要請の状況によっては、施設運営に影響が出る可能性もある。
		百貨店(マネージャー)	・これから夏に向けて、電力事情の悪化などの要因が店頭の動きにどう影響するかが分からない。例えばエコ商材、クール商材といった特徴的な商品にはプラスとなるが、消費者の購買心理といった目に見えない部分への影響が不透明である。
		スーパー(店長)	・夏の電力不足の状況により、節電関連商品の動きが活発化するのか、家計の節約が加速するかの判断が難しい。
		スーパー(広報担当)	・電力不足問題が深刻化すれば、営業に支障が出る可能性があり、消費にもマイナスとなることが懸念される。
		家電量販店(企画担当)	・電力不足により、新規購入への意欲が高まらない感がある。
	乗用車販売店(経営者)	・今後も原子力発電所の問題、電力不足、円高の再進行など、日本経済を取り巻く環境が決まれば良くないので、景気は良くならない。ただし、東日本大震災の復興需要や税制優遇などで悪くもならない。	
	一般レストラン(スタッフ)	・政局の見通しが立たないなか、増税や電力不足などのマイナスの情報はあるが、節約疲れや自粛ムードからの脱却で消費のベースは上がっているため、全体としては今の状況が続く。	
	やや悪くなる	スーパー(店長)	・悪化の一番の理由は電力需給の問題である。電気料金の単価上昇懸念に加え、過度な節電対策が業績に悪影響を及ぼさないかが心配される。
企業取引関連	変わらない	観光型ホテル(経営者)	・ゴールデンウィーク後も今の好調が続くとは考えられない。予約が間際化しているため、先の予約状況からは判断しにくい。原油価格の上昇や電力不足の問題、政局不安などを考えると、先行きは悪化を予想せざるを得ない。
		通信会社(企画担当)	・原子力発電所の停止による電力需給の不安定化で、やや悪くなる。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・今夏の電力不足が懸念されるが、大きな変化はない。	
	プラスチック製品製造業(経営者)	・電力会社の計画停電の話で、前年の関東における工場の稼働時間帯シフトが思い出され、回復の勢いに乗れない懸念がある。	
	電気機械器具製造業(企画担当)	・暖かくなれば電力供給が不安定な状況となるなか、節電、省エネ意識が根付き、店舗や住宅での環境配慮型商品への取替えや買換えが続く。	
その他サービス業[店舗開発](従業員)	・外国人観光客や新幹線の乗降客が増えている傾向が続いているため、少なくとも大阪については増収の条件が整いつつある。問題は今夏の電力不足である。		
悪	化学工業(管理担当)	・原材料価格の高騰による輸出量の減少や、電気料金の値上げによる収益減のほか、電力不足に対する不安がある。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 10				11				12																
		月 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4												
現状判断	近畿	50.2	49.4	46.7	49.1	46.1	42.8	41.2	47.0	46.7	47.8	49.6	31.5	28.9	37.2	48.2	49.3	48.1	46.5	44.1	44.9	48.0	44.8	47.6	52.0	53.3
	(全国)	49.8	47.7	47.5	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0	44.1	45.9	51.8	50.9
先行き判断	近畿	50.9	50.2	49.2	46.8	41.2	44.2	44.5	44.3	45.0	47.6	49.5	28.8	40.2	45.2	49.4	48.0	46.4	47.5	46.6	46.3	44.4	47.3	51.3	49.1	51.2
	(全国)	49.9	48.7	48.3	46.6	40.0	41.4	41.1	41.4	43.9	47.2	47.2	26.6	38.4	44.9	49.0	48.5	47.1	46.4	45.9	44.7	44.4	47.1	50.1	49.7	50.9